様式　５

**１行目 課題名（MS明朝太字14point中央揃え）**

京大太郎　京都大学化学研究所

　５行目ここから本文（明朝10.5point両揃え）: 分野選択型研究、課題提案型研究、施設・機器利用型研究については１頁、連携・融合促進型研究については２頁の報告書をご作成・ご提出下さい。

　報告書の形式は自由ですが、１頁の１行目の中央に研究課題名、３行目に右詰めで研究代表者の氏名と所属、５行目から本文を記載して下さい。化学研究所内の共同研究者、代表者以外の研究者は報告書の共著者とはせず、必要に応じて本文中に明記下さい。また、頁サイズ、行送りなどは本様式に揃えて下さい。Ａ４版のこの用紙には１，２００字程度が記載できます。図表などにカラーを用いてもかまいませんが、報告書集刊行の際はモノクロ印刷になることもありますので、その点をお含み置き下さい。

　実験的研究では、目的、実験方法、実験結果、考察、成果報告（論文、学会発表等）などについて簡潔におまとめ下さい。理論的研究では、目的、理論の構成、理論の結果、考察、成果報告（論文、学会発表等）などについて簡潔におまとめ下さい。

　連携・融合促進型研究で研究集会を開催した場合には、集会内容を適切な項目ごとにまとめ、研究集会のプログラム、参加者名簿（所属機関・部局・職名を明記）、および、作成された場合は要旨集またはプロシーディングスを添付してご提出下さい。

　なお、国際共同研究の場合、報告書は必ず英文でご作成ください。

＜注意点＞

・ＰＤＦデータに変換する前に、必ず「フォントの埋め込み」処理をしてください。

・文字化けしやすい「α、β、Π、上付き文字、図中の文字」などは、ＰＤＦに変換後、文字化けしていないことをご確認ください。

・画像データもＰＤＦに変換後、内容をご確認ください。

・ファイル名　例）「2023-1田中.doc、2023-1田中.pdf」